

## 令和6年度後期学校評価アンケート（保護者用）での、学校への意見や要望についての回答

多くのご意見・ご要望等をいただきありがとうございます。いただいたご意見等については、一部を要約して掲載しているものもあります。また、個別にお答えすべきと判断したご意見や、プライベートに関すること等の理由により、一部を省略または掲載を差し控えたご意見等もあります。ご了解いただくとともに、ご不明なことがありましたら学校へご連絡ください。

### 学習について

- 自主勉強で何をしたらいいのかわからない、どうしたらいいのかわからない子供もいると思う。手本になるノートを見せてあげてほしい。
- タブレット端末、教科書、ノート、ワークシートなどを使う授業だと机が小さいと思う。上手に整理できる子でないと集中しづらいのでは。

▲自主勉強についてはノートに1日1ページ以上取り組むことを全学年で推奨しています。見本となるノートを教室に掲示したり、個別に課題を手渡し自主勉強としたりという対応をしていますが、学年によって多少のばらつきがあります。提出されたノートは毎日教員が確認しており、コメントを書いたり直接アドバイスをしたりしていますが、今後も対応に力を入れていきたいと思えます。

▲タブレット端末が導入されて以来、学習機の狭さは頭の痛い問題となっています。整理整頓が苦手な生徒もいますので、タブレット端末を使用しない場面では机の中にしまうように声かけをするなどの対応をとっています。天板の広い学習機の導入については教育委員会との相談が必要であり、時間がかかります。机上を最大限かつ有効に活用するための工夫について、しっかり考えていきたいと思えます。

### 生徒指導について

- ほかの学年と比べられると聞く。学年で色はちがうし、できないこと、苦手なこともあると思う。そんなにほかの学年と比べなくてはいけないのか。
- 何もかも頭ごなしに言うのはやめてほしい。もっと納得のいく説明をしてあげてほしい。
- もっと子供の意見を聞いてあげてほしい。
- 先生の言動に関して不適切ではないかと思うところが何点かある。「～やから～できて当たり前」など生徒に対しての言い方や対応がなっていないと思った場面があった。
- 生徒への指示は先生間で情報共有して統一した指示をお願いしたい。
- 担任と副担任、もう少しコミュニケーションをとっていただきたい。

▲他学年と比較することは意味がありませんし、不必要であると考えます。教職員間では学力調査や運動能力調査などで他学年の平均と比較するようなことはありますが、生徒に伝える必要はないと思えます。生徒に向けて他学年と比較するような発言があったのだとすれば、残念で申し訳なく思えます。大切なのは生徒一人一人の課題であり、足りない部分をいかに補うか、得意なことをさらに伸ばすにはどうすればよいかを考え、ともに成長できるよう生徒の意欲の喚起に力を入れたいと考えます。

▲本校の生徒指導の重点として、「絶えず生徒との心のふれあいを通して、教師と生徒の温かい人間関係を深めることによって、一人ひとりの生徒の悩みや不安等を見つめながら、生徒が自らの力で解決できるように援助する」と明記し、そのような指導ができるよう努めています。しかし、生徒や保護者の皆様が上述のように感じているということは、指導方法の見直しが必要であると考えます。可能であればご指摘いただいたことについて、具体的（どんな場面で教師がどのような言動をし、生徒はどう感じた等）に伝えていただければありがたいです。本来は教師自身が気づくことではありますが、自分では意図したことと違うように受け止められていることもあるようです。

▲複数の教員が関わる学校行事や学習活動については、事前に打ち合わせを行うことが通常です。ご指摘の様な場面があったのであれば、生徒に混乱をもたらすことになり大変申し訳なく思えます。

## 部活動について

- 部活動の選択肢が少なすぎる。今の部活動を辞めたとしても次に入りたい部活動がない。
- なぜ男子卓球部はないのか。
- 部活動をしなくてもよいという選択肢があってもいいのではないか。

▲本校では野球部が11年前に、女子バレーボール部と男子卓球部が5年前に廃部となりました。部員の減少により活動に支障が出たり、入部希望者がゼロとなったりしたことから、話し合いを重ねた結果だと聞いています。生徒数（学級数）の減少に連動し、教職員数が減少したことも一因と思われます。現状では新規の部活動設置は難しいと考えています。ただ、男子卓球部については、入部を希望する生徒がいるのであれば、女子卓球部との合同チームとして復活させることも一つの考えだと思います。生徒の希望を確認した上で、今後ますます生徒数の減少が見込まれていることや部活動の地域移行に向けた動きなども注視しながら、検討を重ねていきたいと考えています。

▲部活動への入部は強制ではありません。生徒個々の様々な事情により部活動に加入していない生徒もいます。担任や部活動顧問に声をかけていただければと思います。

## 服装について

- 制服について、もう学ランとセーラー服はちがうと思う。古い。
- 冬場の教室内のカーディガンの着用をお願いしたい。

▲昨年度、生徒会役員が制服に関するアンケートを実施しました。現在の制服について「良いと思う」42%、「どちらかと言えば良い」35%との回答状況でした。ただ、良くないとの回答が1割程度ありますし、機能面（寒さ、動きにくさ、通気性など）で改善してほしいという意見が2割程度の生徒からあがりました。制服の見直しについては、生徒会役員による話し合いが継続中です。生徒の思いも確認しながら検討を重ねていきたいと思います。

▲冬場の教室環境については、エアコンの設定温度調整と扇風機を使用した風の循環に努めています。生徒の意見も聞きながら、対応について検討したいと思います。

## ダンス発表会について

- もっと自由な服装にしてあげればモチベーションが上がるはず。見せ方、演出のクオリティを上げてやれば今まで以上に活気あふれるイベントになるのでは。
- なぜ2年と3年の曲が同じだったのか。今までは3年生優先で決めていたのでは。

▲ダンスは保健体育科の授業で取り組んでいる学習活動であり、学習成果を披露する場として発表会を開催しています。保護者の方にも案内し、今年度もたくさんの方が見に来てくださいました。服装については条件をそろえるため体操服に統一してきました。体の動きやフォーメーションなどに重点を置いた学習活動であり、服装による差異が影響しないためにも、服装の自由化は考えていません。

▲ダンス発表会の選曲については、これまで3年生優先で決めてきました。今年度は選曲に取りかかるタイミングが遅くなってしまったこと、3年生の選曲に時間がかかったことから、2年生との間で曲決定が前後してしまいました。当該チームのメンバーには担当教諭から説明と確認を行ったのですが、同じ曲であることに嫌な思いをした生徒がいたのであれば、生徒の思いを十分にくめていなかったものと考えます。選曲時期の前倒しと生徒の思いを大切に授業の進め方に努めます。

## 学校評価アンケートについて

- 各項目についてどのようなことを実践しているか提示してもらえれば、もう少し精度の高い評価ができると思う。このアンケートだけでは、漠然とした印象だけの評価になってしまう。
- 今まで記入したこと、一つでも改善されたと思うことがない。意味のあるアンケートなのか。ただ意見を聞くだけのアンケートならいらないと思う。

▲学校評価アンケートは法的に定められたものであり、全ての小中学校、高等学校等で実施されています。「学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校が学校運営の改善を図る」ものです。ご指摘の通り、評価を行うにあたっては、生徒の活動状況や学校の取組状況を知った上で評価していただくことが大切です。生徒の活動状況は学校だよりや学年通信、ホームページ等で紹介することに力を入れていますが、情報量には限界があるため、保護者の方に来校いただける機会を増やすよう心がけています。また、学校運営の改善につなげることが大切ですので、教職員全体で共有しながら、取組を着実に進めていきたいと考えます。

## その他のご意見等（一部）

■水泳の授業・補習について、生理と重なりレポート提出で大変そうだった。女子は泳ぎたくても泳げない場合があるので、ほかにもう少し負担の少ない形で補えないか。

▲水泳の補習は夏季休業中に3日程度設けています。補習日の設定にさらなる工夫ができるか、レポート提出などの補習の内容についても再検討したいと思います。

■自転車での通学区域を再考してほしい。部活帰りなど一人で夜道を歩くのはどうかと思う。

▲原則徒歩での登下校を想定しています。しかし、一定以上の距離があり、比較的広い道路であるなどの諸条件を考慮して自転車による通学可能区域を設定しています。実際には学校から約2km、徒歩だと30分程度以上離れている場所としてきました。一方、登下校時の自転車運転中に事故を起こしたり巻き込まれたりすることが毎年数件発生しています。このことから自転車通学生のほうが交通事故に遭う可能性が高いと考えられるのが懸念材料です。現状の自転車通学区域が妥当なのかどうか、夜道の一人歩きの安全確保策など、関係機関とも相談しながら検討したいと思います。

■運動会を平日にすることはできないのか。外でしているスポーツの試合のため運動会に参加できないことがある。全員参加できる平日の方が生徒のための運動会のように思える。

▲本校の運動会は保護者や地域のみなさんにも参加いただき、生徒とともに楽しく過ごせる学校行事として、これまで土曜日に開催してきました。コロナ禍を経て、保護者や地域のみなさんが参加する種目を削減し午前中のみ開催となり現在に至っています。そのような中、今年度の運動会でPTA種目を復活させたところ、大勢の方に参加いただき大いに盛り上がりました。一方、伊都地方以外では平日に運動会・体育祭を開催している中学校が多いという現状もあります。運動会の今後のあり方も関係しますので、慎重に検討していきたいと考えます。

■耐久リレーの準備・練習があまりにもぎりぎりすぎてほぼ練習なしで参加し、子供も保護者も不安だった。

▲今年度は運動会を10月下旬に実施し、運動会後に耐久リレーに向けた練習を始めたため、時間が十分にとれなかったのは事実です。来年度も同じ時期に運動会を実施したいと考えていますので、運動会の練習と並行して耐久リレーの練習ができるのか、もしくは別の方法があるのか、ほかの中学校の取組状況も参考にしながら検討します。

■進路に対する先生の取り組み方が年ごとに差がみられるように感じる。

▲進路指導については、年度末から年度当初にかけて主任同士による引継をしっかりと行っています。その上で、公立・私立高校とも入試制度等の変更があった場合に修正を加えつつ、生徒の現状も考慮しながら、指導するよう努めているため、若干の差は生じるものと思います。ただ、差が感じられるということでしたら、遠慮なく担任や主任にお伝えいただきたく思います。生徒にとって進路選択はとても大切なものですので、慎重かつ丁寧な指導を行うためにも、念には念を入れたいと考えます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。教職員だけでは気がつかないことがまだまだあると感じます。皆様からいただいたご意見をもとに、学校改善に役立て、来年度につなげていきたいと考えます。また、感謝や応援の言葉もいただきました。ありがとうございました。

九度山中学校 校長 阪中宣之